

昭和42年度特作関係除草剤

試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和42年度特作関係除草剤の適用性判定試験成績検討会は、桑園関係が本年2月19日（杉並・蚕糸試）、茶園関係が2月27日（金谷・茶業試）、林地関係が3月8日（目黒・林業試）、夏作芝生関係が3月16日（当協会）に、それぞれ開催された。
その結果の概要をここに紹介する。

1. 供試薬剤の動向

昭和42年度特作関係に供試された薬剤は、林地関係2薬剤、桑園関係7薬剤、茶園関係5薬剤、夏作芝生関係12薬剤、計26薬剤であった。（第1表）

なお、昭和43年度は、夫々2薬剤、7薬剤、4薬剤、8薬剤が供試されることとなっ

ている。

2. 昭和42年度の試験結果の概要

昭和42年度に供試された26薬剤の中で、有望と認められて実用化に移されることになった薬剤は、桑園に対するCAT、H-173、パラコート、モノリニュロン、アメトリン、H-326D、KPの7薬剤、茶園に対するリニュロン、DCPA・NAC、パラコート、NIP、CNPの5薬剤、芝生に対するOK-6511、SLH-19、S-4154の3薬剤であった。

なお、各薬剤に対する判定結果は第2表、実用性の認められた薬剤の使用基準については第3表に示した。

<第1表> 昭和42年度供試薬剤成分一覧表

区分	薬 剤 名		成 分 お よ び 含 有 率	委 託 会 社
	一般名又は試験名	商 品 名		
林地	DCPA・NAC 乳 剤	ワイダック 357乳 剤	DCPA: 2,4-ジクロロプロピオンアニリド 85% NAC: 1-ナフチル-N-メチルカーバメイト 7%	ワイダック普及会 (保土谷化学) 室 町 化 成
	MCH 42-1 水和剤	複合デウィード 水和剤	DSMA: ジソジウムメチルアルソネート — MCPP: 2-(2'-メチル-4'-クロロフェノキシ)プロピオン酸 —	
桑園	CAT 粒 剤	シマジン 粒剤2	2-クロル-4,6-ビス-エチルアミノ-S-トリアジン 2%	日 本 化 薬
	アメトリン 特殊乳剤	ゲザパックス 乳剤25	2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-S-トリアジン 25%	日 本 化 薬

区分	薬 剤 名		成 分 お よ び 含 有 率	委 託 会 社
	一般名又は試験名	商 品 名		
桑園	H-326D 水和剤	—	リニユロン: 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1- メトキシ-1-メチル尿素 20% DCMU: 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1- ジメチル尿素 30%	丸 和 物 産
	H-173粒 剤	クワロン 粒 剤	PCP-Na 20% DCMU 1.5%	丸 和 物 産
	K P 粒 剤	—	PCP-Na 12% DCMU 1%	東 洋 高 圧
	バラコート液 剤	グラモキソン液剤	1,1'-ジメチル-4,4'-ビピリリウムジクロリド 24%	武 田 薬 品
	モノリニユロン 水和剤	アレシン 水和剤	N-(4-クロロフェニル)-N'-メトキシ-N- メチル尿素 50%	アレシン普及会 (ヘキスト・ ジャパン)
茶園	N I P 乳 剤	N I P 乳 剤	2,4-ジクロロフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 25%	三 洋 貿 易
	C N P 乳 剤	M O 乳 剤	2,4,6-トリクロロフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 20%	三 井 化 学
	リニユロン水和剤	アフアロン水和剤	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1- メチル尿素 50%	アフアロン普及会 (ヘキスト・ ジャパン)
	DCPA・NAC 乳 剤	ワイダック乳 剤	DCPA 25% N A C 5%	ワイダック普及会 (保土谷化学)
	バラコート液 剤	グラモキソン 液 剤	桑園の項参照	武 田 薬 品
芝 (夏作)	S-4154 水和剤	—	1-(2-メチルシクロヘキシル)-3-フェニルウレア 50%	住 友 化 学
	2,4-D+2,4,5 -T 水和剤	—	2,4-D 60% 2,4,5-T: 2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸ソーダ 30%	日 産 農 薬 サ ー ビ ス
	2,4-D+2,4,5-T +CAT 水和剤	—	2,4-D 30% 2,4,5-T 15% C A T 25%	日 産 農 薬 サ ー ビ ス
	M C C 水和剤	SWEP 水和剤	メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル)カーバメイト 40%	SWEP研究会 (日産・日農)
	MCC+2,4-D	—	—	SWEP研究会
	S L H-19 粒 剤	ベネフィン	N-ブチル-N-エチル- α , α -トリフルオロ-2,6- ジニトロ-P-トリライジン 2.5%	塩 野 義 製 薬
	N P-3 液 剤	—	安息香酸誘導体 30%	日 本 曹 達
	N P-9 水和剤	—	2,6-ジターシャリブチル-P-トリル- メチルカーバメイト 30%	日 本 曹 達
	OK-6511 水和剤	—	フェノキシアセティックアシッド誘導体 21% マレイックヒドラジッド(MH) 9%	大 塚 化 学
	B-5706 乳 剤	—	— 50%	日本特殊農薬
	H-642 乳 剤	—	2-メチル-4-クロロフェノキシアセート 20% ベンジルトリエタノールアンモニウム	東京有機化学
	HT-1205 乳 剤	—	— 20%	東京有機化学

< 第 2 表 > 実 用 化 判 定 表

区 分	実 用 化	実 と 継	継	継 ?	中 止
林 地			DCPA・NAC 乳 剤 (アカマツ)	MCH ₄₂₋₁ 水和剤 (アカマツ)	MCH ₄₂₋₁ 水和剤 (スギ, ヒノキ, カラマツ) DCPA・NAC 乳 剤 (スギ, ヒノキ)
桑 園	CAT 粒 剤 ² H-173 粒 剤 バラコート液 剤 モノリニュロン 水和剤	アメトリン特殊乳剤 H-326D 水和剤 K P 粒 剤			
芝 (夏作)		OK-6511 水和剤 SLH-19 粒 剤 S-4154 水和剤	B-5706 乳 剤 H-642 乳 剤 HT-1205 乳 剤 NP-8 液 剤 NP-9 水和剤 MCC+2,4-D M C C 水和剤 2,4-D+2,4,5-T 2,4-D+CAT+2,4,5-T		
茶 園	リニュロン水和剤 (土壌処理) DCPA・NAC 乳 剤 (茎葉処理) バラコート 液 剤 (茎葉処理)	N I P 乳 剤 (土壌処理) C N P 乳 剤 (土壌処理)	リニュロン 水和剤 (茎葉処理) バラコート+CAT (茎葉処理) G-481 液 剤 (発根促進剤)	DCPA・NAC +CAT (茎葉処理)	N I P 乳 剤 (茎葉処理) C N P 乳 剤 (茎葉処理)

< 第 3 表 > 昭和 4 2 年度特作関係実用化薬剤使用基準一覧表

区 分	薬 剤 名	処 理 方 法	処 理 時 期	使 用 量 製品 10a 当り	使 用 上 の 注 意
桑 園	C A T 粒 剤	土 壌 処 理	夏 草 発 生 前 春 発 育 前 又 は 夏 切 後 なる べく 早く	7.5 ~ 10 Kg	土 壌 水分が適湿の時期に散布 のこと
	アメトリン特殊乳剤	雑草茎葉処理	夏 草 発 生 後	500 ~ 750 CC	砂質土壌や樹令の若い桑園お よび梅雨期の使用をさける。 イネ科に劣る。
	H-326D 水和剤	土 壌 処 理 雑草茎葉処理	雑 草 発 生 前 後	土 壌 処 理 150 ~ 200 g 茎 葉 処 理 200 ~ 300 g	茎葉処理は草丈 20 cm 程度の 時期に散布

区 分	薬 剤 名	処理方法	処理時期	使 用 量 製品 10a 当り	使用上の注意
桑 園	H-173 粒 剤	土 壌 処 理	夏 草 発 生 前	4 ～ 6 Kg	土壌が乾燥していても有効
	K P 粒 剤	"	"	7.5 ～ 10 Kg	"
	パラコート+CAT	雑草茎葉処理	夏 草 発 生 後	パラコート+DCMU 200+100 パラコート+CAT 200+150～ 200	
	モノリニュロン 水和剤	土 壌 処 理	夏 草 発 生 前	500～800 g	桑の樹にかからないように散布すること。
茶 園	N I P 乳 剤	土 壌 処 理	雑草発芽初期	1200 CC	畦間散布により、茶樹株元および葉にかけない。
	C N P 乳 剤	"	"	1500 CC	"
	リニュロン 水和剤	"	"	300 g	"
	DCPA・NAC 乳剤	雑草茎葉処理	雑 草 生 育 期 (草丈20cm以下)	2000 CC	茶樹茎葉に附着しないようにする。
	パラコート 液 剤	"	"	300 CC	" タデ・ツユクサ優占地帯を除く
夏 芝	SLH-19 粒剤	土 壌 処 理	雑 草 発 生 前	1600 g	イネ科雑草対象 コーライ芝対象
	S-4154 水和剤	"	"	1200～1400 g	イネ科雑草対象 ベント・コーライ芝対象
	OK-6511 水和剤	"	" 発 生 初 期	1000～2000 g	イネ科雑草対象 コーライ芝対象